

NEWS LETTER KUMAMOTO

2014. Summer Vol. 102

■発行：一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団

〒861-0806 熊本市中央区花畑町 4-18 熊本市国際交流会館

■Publisher: Kumamoto International Foundation

4-18 hanabata-cho, chuouku, kumamoto city, 860-0806

TEL: 096-359-2121 / FAX: 096-359-5783

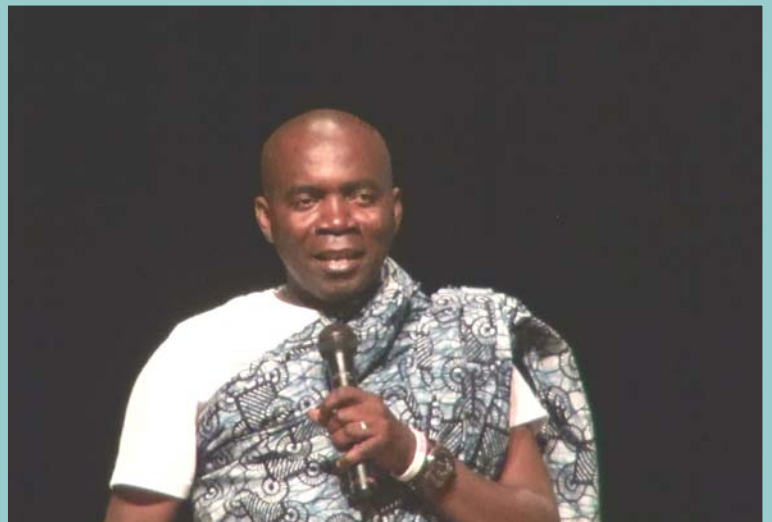
e-mail: pj-info@kumamoto-if.or.jp URL: <http://www.kumamoto-if.or.jp/>



■■■世界をよく知るセミナー■■■ ガーナの現状を知ろう！

平成 26 年 5 月 25 日（日）午後 2 時から熊本市国際交流会館 6F ホールで、ガーナ出身で横浜市在住のヤオ・オフエイ・アモアベン氏を講師に迎え、平成 26 年度世界をよく知るセミナー～ガーナの現状を知ろう～を開催いたしました。

約 80 名の方にご参加いただき、講演に加え、ガーナの民族音楽の演奏、現地と会場を繋ぐライブトークと、盛りだくさんの内容でした。英語と日本語を交えながら講演は行われ、会場からは英語での質問も出るなど、意見交換が活発になされました。



▲民族衣装「ケンテ」を身にまとったヤオ氏



～あなたのガーナのイメージは？～

世界をよく知るセミナー・・・・・・・・・・P1～P2
・ガーナの現状を知ろう！

世界に羽ばたくために！・・・・・・・・・・P3
・～留学相談を通してのワンポイントアドバイス～
・4コマ漫画「Fair Trade Station」

新しい国際交流員の紹介・・・・・・・・・・P4～P5
・熊本の皆さん「大家好」！

目次

Contents

世界を知る～It know the world～・・・・P6
・「文化の中で生きるということ」

未来のために・・・・・・・・・・P7
・姉妹都市交流の出口戦略

ちょっと日本語／きふプロ・・・・・・・・P8
・平成 26 年度賛助会員募集について

講師ヤオ・オフエイ・アモアベン氏 ご紹介

ガーナ生まれのガーナ育ち。大学で農業を学び、ガーナとナイジェリアの中学校で農業を教える。日本に留学していた兄の影響で来日。日本では玉ねぎ、トマト、オクラなどの野菜を有機栽培している。帰国して父親の意志を継ぎ、ガーナの農業において多様性と生産性を拡大することが夢。

ヤオ氏の父とガーナの農業

今回のお話の中で、お父さんの存在がヤオさんにとっても大きな影響を与えている事がわかりました。名前は Nana Asare Bediako III、ガーナの最多民族アカン族の王様でありながら、自ら農業を営んでいました。ガーナは古くからカカオの生産を行っていましたが、その生産はすべて輸出用であり、ガーナの人々はカカオからチョコレートが作られることさえ知らなかったといいます。そこでヤオさんの父は、「貿易のためではない、生活のため、食べるための食物を作りなさい」と提案しました。これは、それまでほとんどカカオしか生産していなかったガーナの農業にとって、農産物の多様化、農業従事者の自立という面で大きく貢献した出来事でした。

現在のガーナでは農業従事者が人口の約50%を占め、GDP 約30%を占めています。しかしながら、大部分の農業従事者は素手でマスクもせず無防備に農業を撒いたり、伝統的な方法(頭上に大きな荷物に乗せる)で農作物を運んだり、今でも決して満足とは言えない環境で農業を行っているといえます。田舎では道も悪く、物流システムが整っていないためにたくさん生産したとしても市場に出る前に腐ってしまうことも珍しくないとのこと。このような環境で働く農業従事者は、自分たちが貰っている賃金は安いという気持ちはあるものの、政府のサポート等もないため、自分たちにできることがないと感じているそうです。



あなたのガーナのイメージは？

ここまで農業従事者の現状、田舎の現状をお話しいただき、これらはまさに私たちが抱いているガーナへのイメージではないでしょうか。しかし、ここでヤオさんは違ったイメージを投げかけます。整備された道路、ファッションモール、高級車…都市部の写真が、これまでの農業従事者の生活と対比されました。この対比からもわかるように、ガーナにおいても貧富の差は深刻だと、講演後のインタビューでおっしゃっていました。



ヤオさんは、ミュージシャンとしても活動なさっているということで、3曲披露していただきました。その中で、印象に残った歌詞をご紹介します。

“Self-sustaining and self-reliant. Flourishing like a palm tree.” (しっかりと自らの足で立ち まるでヤシの木のように豊かに繁栄するアフリカ) この歌詞に、ヤオさんのお父さん、そしてヤオさんの、ガーナを含むアフリカの国々、アフリカの人々の自立を望む気持ちが強く感じられました。

日本と現地の朝を繋ぐライブレポート！

今回新たな試みで、ライブトーク「ガーナの朝を現地リポート」を行いました。スカイプ（インターネット電話サービス）を利用し、日本とガーナをテレビ電話で繋ぐというものです。回線状況が不安定で、長い時間のやり取りはできませんでしたが、パパイアの広大な農場を背景に、ヤオさんのお兄さんとお話することができました。

外から見るガーナ・内から見るガーナ。ある側面から見ただけでは分からないことはたくさんあります。自分の抱えているイメージがすべてではないという、当たり前だけれども忘れがちなことを再認識させてくれました。もともとは、環境問題を語る際に使用される言葉ですが、Think globally, Act locally.という言葉があります。ガーナの現状を知り、日本・熊本で行動する。フェアトレードなどの選択肢から自分ができることをする姿勢が大切だと感じました。

☆留学相談活動を通して ワンポイントアドバイス☆

留学専門相談員
樋口 久美子 氏



《目的の明確化》

月1回ではありますが、国際交流会館で留学相談専門員として活動するようになり3年目となりました。

相談に見えられる方の年代も10代～60代までと幅広く、誰でもがその気にさえなれば簡単に留学出来る時代となりました。目的のトップはやはり「英語力をつけたい」、それ以外にも、留学は若い頃からの夢だった、という60代の方もおられました。実際、ご退職と同時に1か月間の語学留学とホームステイを果たしてご帰国されました。いくつになっても、夢にチャレンジするバイタリティーに“熊本の元気”を相談活動を通して感じさせられています。

さて、中高生から「英語力をつけたいので留学をしたい」との想いを聞くと、決まって質問することがあります。それは「なんのために？」です。その目的を整理することで、語学学校入校なのか、それとも正規留学と言われている海外大学進学なのか、あるいは唯一高校時代にしかチャレンジできない10ヶ月の交換留学プログラムなのか・・・それとも短期で、たとえば夏休みを利用しての海外体験なのか・・・留学期間やその方にあう留学のスタイルが見えて来ます。

よくこんなアドバイスをすることがあります。英語力をつけるためだけならば、留学にかかる費用を、日本で英語力アップのために使ってみてはどうですか。今は色んな勉強の仕方がありますし、と。留学を成功させるポイントの一つは、出発前にどれだけ目的を明確に出来るか、という点です。

相談活動を通して私が出逢ったみなさんは、留学するにせよ、保留にするにせよ、「やる気が出ました！」とおっしゃいます。留学相談はその方にとってみれば大きなライフイベント、それと向き合う大切な時間だと捉えています。

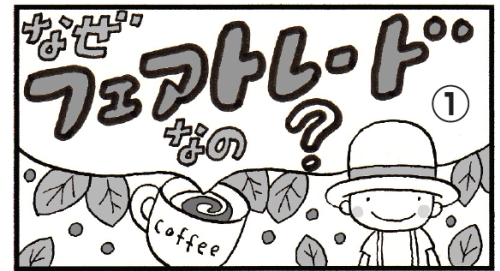
☆留学相談のご案内☆

留学に対して不安をお持ちの方、漠然と考えられている方、最初の一歩を踏み出してみませんか。

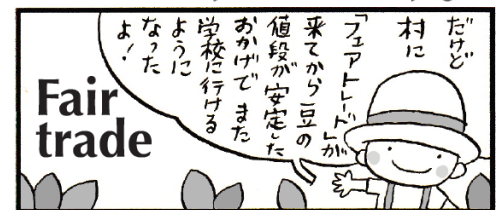
国際交流会館では、毎月第2土曜日 13:00～15:00 に留学相談を行っています。予約制となっておりますのでお問い合わせのうえお越しください。

Fair Trade Station

～フェアトレードを知ろう！～



Last year, I couldn't go to school
Coz I had to work all day at the farm.
So, I couldn't study like other kids my aged.



But, the Fair trade system fixed the price of
coffee beans stable.
Now, I can go to school again
coz I don't need to work so hard.



Coffee beans in my village are
organic and healthy



答えは次号で！
That's right! We plant banana trees
around coffee plants.
Why? Please guess!

8月31日(日)は
国際交流会館20周年記念
イベントとして、会館2階にて
子どもたちと一緒にライブ
ペインティングを行います！
ぜひご参加ください！

作者/イラストレーター 村井健太郎氏
プロフィール
熊本市「ひごまる」ロアッソ熊本
「ロアッソくん」長崎書店第1回
La!Bunko イメージイラスト など
熊本デザイン専門学校常勤講師

熊本の皆さん
「大家好」!

ターチャーハオ
※ 大 家 好 : 中国語で「こんにちは」



私は何超（か・ちょう）と申します。名前の読み方は日本語の「^{かちょう}課長」と同じなので、よく友人に「課長」と呼ばれています。熊本の友好都市桂林から参りました。これからの一年間、市役所のシティプロモーション課国際室に国際交流員として務めさせていただきます。趣味はサッカー観戦写真撮影、音楽鑑賞です。カラオケもよく行きますが、歌声はコナン君（マンガ名探偵コナンの主人公。音痴で有名）レベルです。ちなみに、今回のサッカーワールドカップ大会は日本代表とアルゼンチン代表を応援しています。

桂林市は熊本に劣らない美しい風景に恵まれており、市の中心部に流れる漓江の兩岸には奇峰・奇岩が連なり、山水画のように美しい独特の景色が広がり、毎年国内外から多くの人々が訪れる国際観光都市です。そして、1979 年の友好都市締結に始まりました熊本・桂林両市の友好関係が様々な分野において実り多い成果をあげ、本年いよいよ 35 周年を迎えることが出来ました。それは多くの熊本市民の皆様のご理解、ご支援の賜物であり、ここに改めて深く感謝申し上げます。

これから一年間、日本・熊本生活の中で、中国文化講座やサロンなど、色々なイベントを催すことで、熊本の皆さんに中国、桂林市に対する理解を深めていただき、多くの方と友情の絆を築き上げたいと思います。そして、友好都市間の交流事業をより一層発展させるために、微力ながらも貢献してまいりたいと思っていますので、市民の皆さんからのご支援とご協力をお願い申し上げます。

何さんのことをもっと知りたい！ということで、インタビューを行いました。

（イ：インタビュアー、何：何超さん）

イ：どうして日本語の勉強を始めたんですか？

何：高校生のとき音楽が好きでバンドのボーカルをしていて、日本の音楽に興味を持ちました。そこから日本語に興味が出てきましたね。

イ：今回が初めての来日ということですが。

何：そうです。大学では日本語専攻でしたので、日本に行ってみたいと思っていましたが、みんなレベルが高いので留学は 100 人に 1 人の狭き門だったんです。だから念願の来日です。

イ：日本に来て驚いたことは何ですか？

何：人が少ないと思いましたね、中国は人が無駄に多いので。（笑）今住んでいるところは、昼でも人が少ないので寂しいです。でも、人が少ないのは静かで、心が落ち着きます。電車の中でも静かなのはいいですね。来熊した中国人はみんな思うんじゃないかな。

イ：日本に来て何か困ったことはありますか？

何：GW に天草の下田温泉やいろんな地方に行きましたが、年配の方と話すときに方言が全く分からなくて大変でした。同じ国際交流員のキューレンさん（カナダ出身）は日本人でも知らないような日本語を知っているので、いつも聞いて表現を勉強しています。

イ：GW のお話が出ましたが、日本でどこか旅行に行きましたか？

何：長崎、鹿児島、阿蘇などです。特に鹿児島の海は、これまでいった海の中で一番きれいでした。

イ：お休みの日は何をされているんですか？

何：以前はバンドをしていました。今でもカラオケには行きます。日本の曲も歌いますよ。スポーツ観戦も好きで、ワールドカップでは日本・アルゼンチンを応援しています。

イ：それでは、最後に業務の中で大変だったことを教えて下さい。

何：広西省経済局の方々が熊本にいらっやって、日本企業の誘致セミナーが行われたのですが、その通訳の仕事です。ビジネス日本語になるととても難しく、途中で心が折れそうになるくらい大変でした。これからの仕事のためにも日本語能力を高めていかなければいけないと実感しました。

イ：何さんありがとうございました。1年間がんばってください！

何さんの担当される中国語サロンがとても面白い！と早くも評判になっています。ここで、何さん記念すべき着任第1回目の中国語サロンをご紹介したいと思います。

第一回 中国語サロン

パンダ？違う！ホントの中国を知ろう！

1. 中国と言えば最初に思い浮かぶものはなんですか？

次の十個の単語から三つを選んで下さい。

広い/ジャイアントパンダ
カンフー/ジャッキー・チェン
餃子/北京ダック/毛沢東
孔子/共産党/その他

これは、中国政府の専門機関が行った、外国人向けのアンケート調査。ここに並んでいる言葉は回答者が選びだした「中国のイメージを表す言葉」のトップテンです。しかし、私はこのアンケートの結果を見たとき、本当に驚きました。なぜかという、中国人にとっての中国と、外国人の目に映る中国のイメージとがこんなに違うとは思わなかったからです。

2. 中国は広いですか？違います！中国は狭いです！しかも「極狭」です。

中国の総面積960万平方メートルで、日本は38万（雲南省に相当）、約25倍。広いのにどうして「狭い」のでしょうか。地形図から見ると、中国全土のほぼ3分の2が内モンゴル高原、新疆盆地とチベット高原からなっています。内モンゴル高原の九割が草原と砂漠です。農作は殆どできません。新疆地域では水が少ない上、一年中40-50度の高温の日が多い。そしてチベット、標高4000から8000メートルの名山が多いのですが、酸素の稀薄と低温が原因で人が少ない。このような地域では、人間が住むのに向いてい

ないので人口の密度が全国の平均値より遥かに低いのです。新疆、チベット、内モンゴルとの5000万人を除いて、13億近い人口が全土のわずか3分の1

程度の土地に生きている。そう考えると、中国もそれほど広くないと感じませんか。

3. 日本で、中国の一番人気な動物と言えば、やはりパンダでしょう。その希少価値とあの可愛らしい姿は何といっても愛らしい。

中国は五千年にわたる悠久な歴史を誇り、この長い歴史の中では、数えきれない凄まじい自然災害、戦争、そして王朝の変遷の物語があります。無数の英雄がそれぞれの時代を生き、伝説が生まれました。そして、今の中国、改革開放という前代未聞の政策革新が繰り返されるなか、国内では経済急成長を遂げ、国際的にも各分野においてその存在感をアピールしつつあります。

このような壮絶な歴史を有する大国と、あの可愛らしいオーラを出しているパンダとはイメージが全然違うとは思いませんか？

中国人にとって、自分の国のイメージにふさわしいキャラクターは「竜」なのです。龍の姿は「九似（きゅうじ）」といって、角は鹿、頭は駱駝（らくだ）、目は鬼、項（うなじ）は蛇、腹は蜃（みずち）、鱗（うろこ）は魚、爪は鷹、掌（たなごころ）は虎、耳は牛に似ていると言われます。まさに人間の創造力のなせる技です。「竜」の起源に対しては諸説あり、現在最も有力な説は、トーテムを崇拜した色々な原始集落が一つに統一され、各自が崇拜した動物の特徴を一つに統合して創り出したという説です。そして、この天下統一をなし遂げたのは中華民族の先祖であり、それに合わせて龍が生まれ、威厳と権力の象徴になりました。



桂林の美しい風景

いかがでしたか？中国語サロンでは、日本と中国の両方の文化を熟知した何さんならではの興味深いテーマを毎月中国語で聞くことができます！皆さんも中国語でフリートーキングしてみませんか？

中国語サロン

- ・毎月第4火曜日（午後2時～、午後6時半～）
- ・参加費 300円 ・国際交流会館 2F ミーティング室



世界を知る ～It know the world～

このページでは、「世界を知る」をテーマに独立行政法人国際協力機構(JICA)デスク熊本や、国際交流・協力分野で活躍している皆さんのご協力を得て、日本で生活する私たちには日常知ることができない興味深い世界の状況を紹介します。

「異文化の中で生きるということ」

青年海外協力隊 船津 優 さん

(平成 24 年 3 月～平成 26 年 3 月 モザンビーク派遣 職種：村落開発普及員)

「お金を貸して」

途上国と呼ばれる国の人々からこのように言われたらどのような返事をしますか？これは、私達が任地に赴いて遭遇する場面のひとつです。

私は平成24年3月から平成26年3月までの2年間、アフリカ南部のモザンビークにいました。外国人はお金持ちだと思われているので、「お金を貸してほしい」とかなりの人に言われ、困っていました。

しかし、任地で多くの時間を過ごす中で、あることに気づきました。彼らは外国人である私にだけそのようなことを言っているのではなく、普段から仲間内でお金の貸し借りを行っていたのです。

任地には「シティーキ」と呼ばれる習慣があります。近所の人同士や教会の仲間などのグループで、全メンバーが定期的に一定の金額を少しずつ出し合い、その合計をすべてのメンバーが順番に受け取るというもの。各メンバーが少しずつ負担することで、ある一人が一度に大きな金額を手にすることが出来、まとまった金額がないとできないような買い物・教育費の負担・医療費の負担などが可能になるのです。



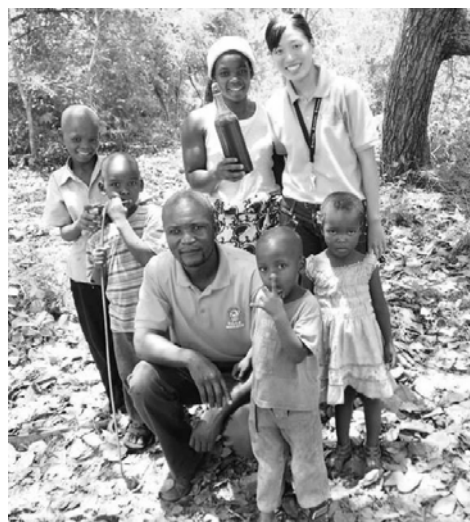
「シティーキ」の様子

ほとんどの家庭が自給自足の農家で、生活する上でのお金は十分とは言えませんが、地域の繋がりを大事

にしてお互いに助け合って生活しています。「貧困層の中にいる人たちは返すお金もないだろうし、返す気もないだろう」という私の当初の認識は、現実には当てはまらないことが分かりました。

しかし、お金を貸し合うことが助け合いとして行われている場合もありますが、単なる依存心からお金を求めてしまう場合もあると感じました。それは「援助」という枠組みの中においてです。現地の人々は、外国からの援助によりただモノをもらうことに慣れていきます。一回だけ使って壊れてしまった高価な機械、修繕をしたらまだ使える服にも関わらず新しいものを持って来てという意識など、過去の援助によって「依存体質」があることも事実です。

私は活動においては、その依存体質から抜け出して自立することを目指し、できるだけ外から持ってきたものではなく任地の素材や彼らの技術を生かして活動を行いました。その一つが、養蜂活動です。蜂蜜を取り出す際に遠心分離機という機械が必要になりますが、これを購入するのではなく任地の古自転車を再利用し、また任地の溶接屋に頼んで作製しました。これにより故障や部品の不足があっても任地内の素材と技術で機械を半永久的に使用することができます。



蜂蜜の収穫

異文化の中で生活するには、生活の中で遭遇した場面、出会った人、聞いた言葉などをそのまま鵜呑みにするのではなく、いったん咀嚼して相手の目線に立って彼らの物差しで物事を見ることが必要であると学びました。



ここでは、私たちの未来を考える上でとても重要な視点である共に生きる社会、多文化共生について専門家である羽賀友信さんにシリーズでご寄稿いただいています。



筆者：羽賀 友信さん

- ・長岡市国際交流センター「地球広場」センター長
- ・新潟 NGO ネットワーク顧問
- ・JICA 地球ひろば 国際協力サポーター
- ・長岡市教育委員
- ・JICA 専門家
- ※当事業団多文化共生アドバイザー

姉妹都市交流の出口戦略

昨年の7月にアメリカ・テキサス州サンアントニオ市で行われた「国際姉妹都市協会総会（環太平洋サミット）」に参加しました。熊本市からは姉妹都市の代表として市長さんが基調講演をされました。アラモの砦と熊本城を対比させて、英語でスピーチをされましたが、ユーモアを交え非常に好評でした。

世界からの参加者は約 600 人でしたが、参加して感じたのは、日本と他の国、特に米国、中国との出口戦略の違いでした。日本は姉妹都市交流の中心に青少年交流、市民交流を位置付けていますが、他の国では青少年交流は入り口であり、市民交流、留学生交流、若手企業家交流を通し、出口として企業の経済交流が位置付けられていることに驚かされました。特に中国からのスピーカーには、大きな反響があり、地方外交としての姉妹都市交流の目的が感じられました。当初、なぜ商工会議所及び企業がこの会のスポンサーになっているのか疑問でしたが、参加してみて得心がきました。

国の中央を通さずに地方都市が独自に展開する姉妹都市交流は、1980 年代後半から外務省主導で推進されましたが、交流先は欧米が主流になり、現実的な留

学生交流や経済交流との間に齟齬が生じてしまいました。つまり、日本に来る留学生のほとんどはアジアが主ですが、日本からの留学生は圧倒的にアメリカが主になっています。経済関係においてもアジアとの重要性の方が主になっているのに、姉妹都市のあり方が青少年交流、市民交流のレベルで終わってしまっていると思います。

基調講演の後の分科会にも参加しましたが、青少年交流部門は日本の方が主でした。これからは双方向で Win-Win の関係が成り立つように明確な出口戦略を立てなければいけない状況になっています。

一つは個人としての多言語の獲得、ファシリテーション能力・プレゼンテーション能力及び文化通訳能力の向上、姉妹都市の教育システム・経済システム及び多民族国家のシステムの理解、それから、制度としての交換留学制度の確立及び若手企業家のインターンシップ制度などの制度改革も含めたトータルな戦略モデルの確立が必要な時期に来ていると思います。加えて、姉妹都市との関係のみに限らず、違いを尊重し、共生の価値観を共有し、平和を求める人材の育成も最終的な目標になると思います。

あなたの企業も一緒に情報発信しませんか？

この「ニュースレターくまもと」は、当事業団の機関紙として平成 7 年 11 月の創刊以来、熊本の国際交流・協力に関する情報を、日本各地の国際交流協会、国際交流・協力機関や市民、在住外国人の方々を中心に幅広く発信し、国際交流・協力に関心を持つ人、開発教育関係の教育者、留学を考えている人、異文化理解に興味を持つ人など、多くの方々にご愛読いただいています。 *WEB でも公開しています。(<http://www.kumamoto-if.or.jp/>)

発行：年 4 回(4 月、7 月、10 月、1 月) 部数：3,000 部

配布先：市内の小・中学校、高校、大学、全国の国際交流協会、市内の国際交流・協力団体、

当事業団のボランティア登録者及び賛助会員(約 500 名)、熊本市役所関係機関(区役所、市民センター、公民館等)、熊本市国際交流会館内
広告の種類：1/4 ページ(この広告募集のサイズです。)

契約期間及び料金：1/8 のおためしサイズ(1 回)5,000 円単発

1/4 サイズ(1 回)20,000 円、半年契約(2 回)30,000 円、年間契約(4 回)40,000 円

★まずは、1/8 のおためしサイズ(1 回 5,000 円)で貴社の情報を発信しませんか！

ちょっと Japanese Tip 日本語

NPO 法人日本語サポートあさ

代表 小川 ひろみ さん

地球サイズの日本語

日本から離れたところで日本語教育にかかわって気づいたことは、学習目的の違いです。つまり、海外では「何の役に立たない日本語」を勉強している人たちが大勢いることです。仕事や進学のためではなく「日本語や日本文化が好きだから、興味があるから」という理由で学んでいる人々です。そんな日本語学習者は時には日本語や日本についての知識が生半可でなく、というかマニアックで度肝を抜かれることもありました。今はインターネットをはじめ様々なメディアを通して知識は無料で簡単に楽しく得ることができます。日本語が日本人だけのものではなく、改めて日本語「で」できること、日本語「が」できることについて、グローバルな視点でちょっと考えてみませんか。

俳句

今日の日本語の教室では「俳句・はいく」に挑戦しました。「5・7・5のひらがなだけで、季節と心を詩にしましょう」と、自分の今を紹介しようということにして開始！ できたものは、やはり中東の夏はラマダン〔今年は6月末から7月末まで断食月〕、神様やラマダンが圧倒的に多く

- ・ラマダンの 夜、ともだちと 風すすし
- ・ラマダンの コーラン日の出と おなじとき
- ・ラマダンや すてきな月と かみさと

最後に私の一句： モロッコも 日本も同じ ジャガランタ

日本と一番遠く一番違う国を希望してこのモロッコに赴任しましたが、今が盛りと咲く花も人の心も日本と同じだったことを実感し、来月帰国します。

〔2013年10月より2014年7月 モロッコのフェズに日本語教師として滞在〕

きふプロ

インターンシップ生、サポートセンターボランティアの皆さんが語るKIFのアクティビティ

インターネットではもっとたくさん紹介しています。

URL: /kifblo.blog.ocn.ne.jp/blog/



はじめまして。私の名前は
西村 淳 (ジョンサンチョール) と申
します。県立大で1ヶ月間勉強し
ました。その後、国際交流会館で
働いています。

熊本に来てよかったところは熊
本城と食べ物屋さんでした。熊
本城は美しく雄大でした。そこ
には昔の服装をした人達もいて一
緒に写真を撮ったりととても良い思
いになります。そして、周りにはたくさん店が
あります。熊本ラーメンや太平燕など熊本名物もあり
ますしそれ以外にもたくさんお店があるので私もい
ろんな所に行ってその中でいい店があったら周りの
人々に教えてあげたいです。



はじめまして。私の名前は
元治雲 (ウォンチュン) と申し
ます。韓国の大邱 (テグ) から
来ました。1ヶ月間は熊本県立
大学で勉強した後、今は国際交
流会館でインターンシップを
しています。

私が住んでいた大邱も暑か
ったのですが、熊本の方がもっ
と暑いんです。熊本に来て、いろ
んな食べ物を食べましたが、一番美味しかったの
はやっぱりとんこつラーメンでした。もし国際交
流会館で私を見かけたら気軽に話かけてください。一
緒にとんこつラーメンを食べに行きましょう。



はじめまして。韓国から来
ました金基暉 (キムキファン) で
す。専攻は観光日本語で2年間
くらい勉強しています。
私にとってこれまでの熊本に
ついてのイメージは「暑い」と
「人が優しい」です。

熊本はどこに行っても暑くて
とても大変でしたが、今は、少
しは慣れました。また、熊本の
人は皆さん優しく、人見知りの私がたった1
ヶ月でたくさんの友達を作ることができま
した。みんな、私を楽にしてくれたので心を
開くことができました。これからの約3ヶ月
も色んな経験をしながら、たくさんの思い出
を作りたいです。これからもどうぞよろしく
お願いします。

※3名のインターンシップ生は8月まで国際交流会館で活動中です。

☆平成26年度賛助会員募集！☆

一般財団法人熊本市国際交流振興事業団では賛助会員を募集しています。当事業団の活動にご理解とご支援をいただくと共に、さらなる国際交流や国際協力の輪が広がることを願っています。

会員の方々には、事業団の機関誌『ニュースレターくまもと』の送付や様々な情報の提供をさせていただきます。また、当事業団主催講座の受講料会員割引特典や、国際交流会館駐車場の割引もあります。

- ①個人会員 一口 2,000 円/年(一口以上)
- ②団体会員 一口 10,000 円/年(一口以上)

平成 27 年 3 月までの会員期間となります。

<入会のお申し込み・お問い合わせ>

一般財団法人 熊本市国際交流振興事業団事務局
〒860-0806 熊本市中央区花畑町 4-18 熊本市国際交流会館
TEL:096-359-2020 FAX:096-359-5783
E-mail:ad-info@kumamoto-if.or.jp

私たちは熊本の国際交流活動を応援しています！〔団体〕50 音順(敬称略)

・熊本市地域婦人会連絡協議会

継続・新規ご加入ありがとうございます。(平成 26 年 4 月 1 日～6 月 22 日現在にご加入いただいた皆様)〔個人〕50 音順(敬称略)

- | | | | | | | | | | | |
|-----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| ・ 曉 順子 | ・ 宇根 徳史 | ・ 金子 政利 | ・ 蔵本 剛 | ・ 迫田 香愛 | ・ 白濱 豊 | ・ 谷 愛純 | ・ 橋村 俊也 | ・ 藤本 晴香 | ・ 宮地 彩子 | ・ 山本 富子 |
| ・ 新野尾 なつみ | ・ 内山 和代 | ・ 河上 橋夫 | ・ 桑野 光朗 | ・ 真田 寛子 | ・ 世利 美保子 | ・ 谷 瑞恵 | ・ 長谷川 典子 | ・ 星野 有香 | ・ 宮副 大佑 | ・ 吉田 千賀子 |
| ・ 荒木 ひとみ | ・ 有働 征弘 | ・ 川崎 留衣子 | ・ 古賀 千栄子 | ・ 鮫島 博子 | ・ 高川 知子 | ・ 田上 美奈 | ・ 林田 尚武 | ・ 本田 千恵 | ・ 宮田 準一 | ・ 鷺見 幹奈子 |
| ・ 荒木 真由美 | ・ 宇野 佑希 | ・ 川端 史美 | ・ 古賀 三香子 | ・ 重浦 彩香 | ・ 高濱 麻美 | ・ 鶴野 秀子 | ・ 原 章子 | ・ 益田 隆一郎 | ・ 村上 武 | ・ 渡邊 沙弥香 |
| ・ 荒木 陽子 | ・ 梅本 彰子 | ・ 木上 浩 | ・ 古賀 実 | ・ 重浦 シヅ子 | ・ 高宮 浩二 | ・ 出口 佳子 | ・ 原 幸代子 | ・ 松岡 郁子 | ・ 毛利 恵里香 | ・ 渡邊 宣子 |
| ・ 安藤 宗憲 | ・ 大川 真紀 | ・ 岸川 優子 | ・ 後藤 一郎 | ・ 重浦 照美 | ・ 滝口 靖憲 | ・ 中嶋 奈菜子 | ・ 東 まゆみ | ・ 松倉 裕二 | ・ 守川 照光 | ・ 渡邊 里香 |
| ・ 石渡 豊美 | ・ 太田 裕子 | ・ 北里 富男 | ・ 木庭 由香 | ・ 重浦 文吾 | ・ 田口 輝美 | ・ 中西 竜男 | ・ 東川 知世 | ・ 松田 綾香 | ・ 安竹 邦人 | |
| ・ 市原 敬洋 | ・ 太田 麗奈 | ・ 北田 真紀 | ・ 小堀 郁江 | ・ 茂田 小百合 | ・ 竹内 純 | ・ 中野 哲雄 | ・ 日野 誠一 | ・ 松田 房二郎 | ・ 山内 勉子 | |
| ・ 岩崎 淳一 | ・ 岡崎 和也 | ・ 木下 弘美 | ・ 近藤 美紀 | ・ 重田 弥生 | ・ 竹下 真治 | ・ 中村 啓一 | ・ 平田 由美子 | ・ 松本 真由子 | ・ 山口 富美江 | |
| ・ 上野 慎 | ・ 小田 邦子 | ・ 草野 紗弥 | ・ 齊藤 恵理 | ・ 島田 一浩 | ・ 武田 東史 | ・ 中山 千穂 | ・ 福島 泰斗 | ・ 瑞慶山 怜子 | ・ 山田 京子 | |
| ・ 上村 耕治 | ・ 鬼塚 智衣 | ・ 草野 とも | ・ 坂井 菊子 | ・ 清水 みのり | ・ 武富 香 | ・ 西田 めぐみ | ・ 福多 美奈子 | ・ 水町 美延 | ・ 山田 真梨子 | |
| ・ 植村 米子 | ・ 片山 善蔵 | ・ 倉田 秀樹 | ・ 酒井 健宏 | ・ 下山 敦史 | ・ 田代 彩 | ・ 野中 愛子 | ・ 藤井 文 | ・ 水本 由香理 | ・ 山本 一恵 | |



- 阿蘇くまもと空港より 車で 45 分
- 熊本交通センターより 徒歩 3 分
- 熊本市電花畑町より 徒歩 3 分

from Aso-Kumamoto Airport-
45minutes by car

from Kotsu Center-3minutes walk

from "Hanabata-cho"
tram stop-3minutes walk

熊本市国際交流会館 国際交流サポートセンター

開館時間 午前 9 時～午後 8 時

多文化共生オフィス TEL:096-359-4995 (直通)

休館日 第 2・第 4 月曜日、年末年始 (12 月 29 日～1 月 3 日)

Civic Support Center for International Exchange and Cooperation

Kumamoto City International Center

Service Hours 9:00a.m.-8:00p.m.

Multicultural affairs office Phone:096-359-4995(Dial-in)

Closed: 2nd and 4th Mondays of each month, Dec. 29th-Jan. 3rd